

(2) 競技規則について

館山市長杯館山バレーボール大会競技規則

1. コート 9人制バレーボールの大きさとする。
(長さ18メートル・幅9メートル)
2. ネット 2m5cmとする。
3. ボール 4号合皮カラーボールとする。(モルテン バレーボール4号 V4M5000)
4. チーム
 - ・チームは9名の競技者からなり、そのうち1名は主将であることを要する。
 - ・交代競技者の数は6名以内とする。
 - ・チームは監督、コーチ及びマネージャー各1名を置くことができる。
 - ・監督、コーチ、マネージャー及び交代競技者はコート外の定められた場所に位置する。しかし、交代競技者はウォームアップする目的で、一時ベンチを離れることができる。
5. 競技者
 - ・競技者のユニフォームには胸に高さ少なくとも8センチ、背には高さ少なくとも15センチ、字幅2センチで1から15の番号をつける。また、主将は胸に異なった色の長さ8センチ、幅1.5センチのマークをつける。
 - ・主将が交代競技者として、コートから退く場合は代理の主将を定め、主審に届け出なければならない。一度退いた主将が出場する場合には、再び主将となる。
 - ・監督は競技者を兼ねることができる。ただし、この結果、競技者及び交代競技者の数が本条の規定以上になることは許されない。
 - ・監督が競技者としてコート内にいる間は、監督としての権限を失う。
 - ・競技者の交代は、1セットにつき6回まで要求することができる。先発選手は、1セットにつき1回だけ交代してコートを離れることができるが、コートに戻る場合は自らの交代選手と交代しなければならない。交代選手がチームベンチに戻るには、自らが交代した先発選手とだけ代わることができる。
 - ・競技者の数が8人以下になったとき、退場又は失格を含め理由の如何にかかわらず、そのセット又は試合は没収される。
6. 競技方法
 - ・コートはセット毎に交代する。ただし、最終セットにおいては、いずれかのチームが8点を先取したとき、自動的にコートを交代する。しかし、サービスは交代時の状態のまま続行する。
 - ・コートの交代が規定された時期に行われなくて進行したときは、気がついた時点で交代する。その場合、得点はそのまま有効とする。

7. 試合間の練習

公式練習の時間は各チーム3分間とする。

ただし、両チーム合同で6分間でもよい。

8. セット開始前の整列

整列はサービスオーダー順で並ぶこと。

9. セットの得点

- ・先に21点を得たチームをそのセットの勝者とする。
- ・両チームが20点で同点になった際、2点を勝ち越したチームをそのセットの勝者とする。ただし、最高23点をもってそのセットを終了する。第3セットは、最高15点までとする。

10. セット数 1ゲーム(試合)のセット数は3セットとし、2セットを先取したチームを勝者とする。

11. 第1セットにおけるコート及びサービス権の選択

- ・両チームの主将は試合の開始に先立ち、コートを選ぶか最初のサービス権を取るかをトスで決める。(トスはコート上で行う)
- ・トスに勝った主将は、そのいずれかを優先的に選択することができる。

12. サービス サービスは1度失敗しても、もう1度続けることができる。

13. 休息のためのタイム・アウト

- ・監督又は主将はボールがデッドのとき、主審又は副審に対し1セットに2回だけ、休息のためのタイム・アウトを要求することができる。ただし、第1サーブと第2サーブの間には要求できない。
- ・このタイム・アウトは30秒とする。

14. セット間のタイム・アウト

試合中のセット間に3分間のタイム・アウトがとれる。

15. 反則は次のとおりとする。

- (A) 2回連続でサーブを失敗したとき
- (B) アウト・オブ・バウンズ
- (C) ホールディング
- (D) オーバーネット
- (E) タッチネット
- (F) インターフェア
- (G) ドリブル
- (H) ディレーイング・ザ・ゲーム
- (I) ダブル・ファウル
- (J) サーブ順を間違えた時
- (K) 他の競技者又は物体を利用してプレーした時
- (L) オーバータイムス

16. その他規則は9人制ルールに従う。